



2019年8月2日

各 位

会 社 名 株式会社カッシーナ・イクスシー
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 森 康洋
 (JASDAQ・コード番号 : 2777)
 問合せ先 取締役 執行役員 管理部長 小林 要介
 電 話 03 - 6439 - 1360

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績等の動向を踏まえ、2019年2月8日に公表いたしました業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年12月期第2四半期累計期間(2019年1月1日～2019年6月30日)連結業績予想の修正

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	6,000	150	130	60	15 81
今回発表予想(B)	5,761	35	32	368	97 15
増減額(B) - (A)	239	185	162	428	
増減率(%)	4.0	-	-	-	
(ご参考)前年同期実績 2018年12月期第2四半期実績	5,536	20	16	28	7 59

2. 2019年12月期累計期間(2019年1月1日～2019年12月31日)連結業績予想の修正

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	13,500	800	760	420	110 70
今回発表予想(B)	12,700	400	360	0	0 00
増減額(B) - (A)	800	400	400	420	
増減率(%)	5.9	50.0	52.6	100.0	
(ご参考)前年同期実績 2018年12月期実績	12,435	694	679	417	109 95

3. 業績予想の修正理由

(2019年12月期第2四半期)

英国発のライフスタイルショップを運営するコンランショップ・ジャパンにおいて旗艦店である新宿本店、丸の内店の家具販売や法人営業部における受注金額が想定を大きく下回ったことや、ドイツ製高級システムキッチンを手掛けるエスエムダブリュ・ジャパンの戸建て住宅向けの売上が予想を大きく下回ったことを主な要因として、売上高が前回発表予想を下回る見込みであります。

また営業利益につきましては、一般管理販売費を予算内に留めましたが、上記の売上高の下方修正に加えて、粗利率も若干予想に届かなかったこともあり、営業赤字となりました。

営業外損益はほぼ予想通りとなりましたが、特別損益としてコンランショップ・ジャパン、エスエムダブリュ・ジャパンにおいて、2019年12月期の営業キャッシュフローがマイナスになる見込みを前提として固定資産の減損損失を計上したことを主な原因として、親会社株主に帰属する四半期純利益は大幅な赤字計上となり、前回発表予想を修正するものであります。

(2019年12月期累計期間)

カッシーナ・イクスシー、コンランショップ・ジャパン、エスエムダブリュ・ジャパン3社それぞれに、上期に発生した売上予想との差異を解消するための営業活動を展開する予定ですが、受注から売上転化するまでに一定の期間がかかることを鑑み、上期に発生した予想との差額を全額カバーできる可能性は低いため売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の前期発表予想を修正するものであります。

なお、2019年12月期の年間配当金の予想(期末に1株当たり30円)については、変更いたしません。

4. その他

上記の業績予想につきましては、本資料の発表時点において入手可能な情報及びその業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上